

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人アスクこども育成会 アスク向日保育園	施設 種別	保育所 (旧体系 )
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

平成25年4月23日

総 評	<p>アスク向日保育園は、向日市と京都市西京区との境界付近に位置し、田畑が多く自然豊かな環境にあります。また、周辺には高齢者施設があり、交流も盛んに行われております。</p> <p>平成19年の開所当初の定員は60名でしたが、地域のニーズや住宅地の開発による子どもの増加に応え、現在は110名に増員されています。そのような中、平成24年4月からは、理念に「職員が楽しく働けること」が新たに加えました。職員が楽しく仕事をしてこそ、心から自然と利用者に尽くせると考えからです。</p> <p>保育室は、発達過程に応じた遊びの道具があり、コーナーを作りながら、子どもが自ら選んで安全に遊ぶ工夫がされています。発達で気になる子どもについては、本部の専門家による巡回相談が年3回あり相談できる体制があります。また、研修体系も充実しており、職員の技術向上を図ることができます。</p> <p>保護者同士の運営委員会での交流を含め、保護者への支援にも力を注いでいますが、さらに充実した職員と保護者の共通理解の為の取り組みが求められているようです。</p> <p>多くの事柄に園全体で対応するようにしています。今後も職員全体で保育資質の向上に取り組まれることを期待します。</p>
特に良かった点(※)	<p>○適切な保育の計画の策定 保育課程に基づき年間・期別・月別・日別指導計画が作成され、日別については毎日園長・主任が確認し個別計画・月別指導計画に反映できるしくみになっています。保育内容の課題が研修に反映されています。</p> <p>○サービス実施の記録 毎年、第三者評価を受診し、職員全体で評価・分析が行われています。改善項目については、実際に改善が見られます。年に3回、自己評価も行い保育の質の向上に努めています。</p> <p>○乳児保育の為の環境整備 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。職員全体でタイマーを活用し健康管理を確実にを行う仕組みがあります。</p>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>○利用希望者への情報提供 ホームページを利用している人が多いなかで、ホームページの情報が充実しているとは言えません。今後は本部と連携して、誰が見ても分かりやすく、最新の情報が掲載されたホームページを作成するようにしてください。</p> <p>○転園・卒園児の保育の継続性への配慮 保育終了後の相談窓口は園長が当たっていますが、文書での周知が十分にできていません。今後は広報誌等に掲載し保護者に周知することで、サービスの継続性を更に確保でき、園の発展にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>○不審者の侵入時等の対応 園舎にセキュリティーをかける・I Dカードを配布すること等による不審者の侵入回避・対応を実施しており、平成24年度には毎月不審者訓練を実施しましたが、警察等との連携は確認できませんでした。今後は、警察等との連携の下での研修を取り入れ、一層の安心・安全の向上を図ってはいかががでしょうか。</p>
---------------------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人 アスクこども育成会 アスク向日保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成25年2月22日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立している。	① 保育の理念が明文化している。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化している。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知している。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知している。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知している。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にしている。	① 中・長期計画が策定している。(非該当)	A	A
		I-2-(2) 保育の計画が適切に策定している。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成している	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定している。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知している。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にしている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮している。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

I-1-(1)①②平成24年4月から“職員が楽しく仕事をしてこそ、心から自然と利用者によく伝える”という考えから理念「職員が楽しく働けること」が新たに加わりました。園のパンフレット、入園のしおり(重要事項説明書)に記載し、掲示板に明示しています。

I-1-(2)①4月の職員会議で周知をした上で、保育課程や指導計画を作成しています。

I-1-(2)②入園式でパンフレットなど読み合わせ、クラス懇談会では担任が説明、園庭開放終了後の見学会などで地域の利用者にも説明しています。

I-2-(1)①5年に一度見直し、評価・反省しています。

I-2-(2)①②③④保育課程を基に年間指導計画・期別指導計画・月別指導計画を作成しており、利用者アンケート・クラス懇談会・運営委員会などで意向を把握し反映しています。日別指導計画も園長・主任が毎日確認・評価し、個別指導計画や月別指導計画に反映しています。

I-2-(2)⑤4月に担任が説明、クラスだよりに目標や子どもの様子を記載し、行事や日々の活動などで0歳～5歳の子どもの様子を説明しています。

I-3-(1)①保育業務マニュアル・重要事項説明書に明示され、毎年第三者評価を受診しています。職員には、個人面談などで確認しています。

I-3-(1)②園長研修会で学んだことや、本部が作成した法令集を用いて周知しています。

I-3-(2)①②保育サービスを向上する為にアンケート調査を行い、評価・分析結果は公表しています。職員から提案された事案が、保育に反映された事を確認しています。業務の効率化については、週ミーティングの改善効果を園長・職員が評価し、意識の形成をしています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握している。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備している。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなしている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築している。	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立している。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示している。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A	
	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保している。	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A
		① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保している。	③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
① 必要な社会資源を明確にしている。		B	A	

[自由記述欄]

II-1-(1)①向日市内の保育所と連携した会合に定期的に参加し、情報を交換して共有しています。  
 II-2-(1)①本部と計画的に人事管理を行っています。栄養士の育児休暇期間中は、毎月のクッキング指導などを外部委託しています。  
 II-2-(2)①3ヵ月毎に休暇届けを提出し、承認されると勤務表に反映しています。定期的に園長との面談があり配置転換を行っていますが、分析して改善する仕組みはありません。  
 II-2-(2)②電話やメールで相談できる「self健康相談室」があります。健康診断・インフルエンザ予防注射は本部より補助があります。  
 II-2-(3)①保育マニュアルに明示しています。  
 II-2-(3)②③個別の年間研修計画を作成し、半期毎に評価・見直しをしています。年間研修計画表作成・報告時には、園長から研修内容や課題についてアドバイスがある事を確認しました。  
 II-2-(4)①実習指導者に対する研修は実施されていません。  
 II-2-(4)②実習生に対しては個別に本人の希望を取り入れ、週毎の計画を作成・実施しています。  
 II-3-(1)①近隣の小学校・中学校の体験学習を受け入れや高齢者施設との交流があります。送迎時の駐車が集中する時間帯は、園庭の一部を開放して確保しています。II-3-(1)②毎木曜日に園庭開放をし、子育て相談できる部屋の確保をしています。地域支援活動として親子行事への募集やパンフレットを配布しています。  
 II-3-(1)③マニュアルに意義・方針が明示され、研修もしています。  
 II-3-(2)①社会資源リストを作成し事務所に貼り出しています。全職員が周知していることを確認しました。

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示している。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保している。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

**[自由記述欄]**

Ⅲ-1-(1)①着脱えやオムツ交換は決まった場所で行われている等、マニュアルに基づいてサービスを実施しています。  
 Ⅲ-1-(2)①苦情解決の体制は玄関に掲示し、入園のしおり等に記載して保護者に説明も行っていきます。アンケートによる苦情等の公表も実施しています。  
 Ⅲ-1-(2)②意見や提案等の多くは、登園時に園長が直接聞いて迅速に対応しています。クレーム処理表を作成し対処しています。意見箱も設置しています。  
 Ⅲ-2-(1)①毎年受診し、職員会議でも評価・分析を行い、結果を年度末会議で改善項目としています。  
 Ⅲ-2-(1)②年に3回、査定表に基づいて自己評価を行い、園長との個人面談に活用しています。  
 Ⅲ-2-(2)①子どもの身体状況や生活状況の把握は、統一した様式で行われていることが健康調査表や個人健康記録表、児童票で確認出来ました。  
 Ⅲ-2-(2)②各クラスに記録管理責任者を設置し、マニュアルに基づいて管理しています。  
 Ⅲ-2-(2)③週1回のミーティングや月1回の職員会議等で、情報を共有できるようにしています。  
 Ⅲ-3-(1)①入園前に親子登園をしてもらう等、積極的に見学、体験利用の希望に応じています。ホームページの情報は最新のものではありません。  
 Ⅲ-3-(1)②入園説明会では重要事項説明書を用いて説明し、延長保育等は、契約を交わしています。  
 Ⅲ-3-(2)①保・幼・小連絡会で情報が提供しています。他の保育所への変更の際も、必要に応じて情報を提供しています。保育終了後の相談窓口は園長が当たっていますが、文書で呼びかける所までには行われていません。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備している	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなしている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮している	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

**【自由記述欄】**

IV-1-(1)①健康管理マニュアルを整備しています。アクシデント・トラブルノートを活用し、健康管理に努めています。  
 IV-1-(1)②③健康診断の結果及び歯科健診の結果、要受診の子どもへは、文書を通じ早急に受診をするように促しています。  
 IV-1-(1)④感染症発生時及び予防対策についてのマニュアルを整備し、広報誌を活用して周知しています。  
 IV-1-(1)⑤量を加減でき、おかわりを自由にできる環境があり、楽しんで食事をしています。園児が育てた野菜なども食しています。  
 IV-1-(1)⑥給食会議で味・内容・盛り付けを検討し、おやつは手作りのものに徹底しています。  
 IV-1-(1)⑦栄養士と保護者が直接話せる試食会が年1回あります。  
 IV-1-(1)⑧保護者が、アレルギー除去食に対する医師の指示書を提出し、その指示に従いアレルギー除去食の対応をしています。  
 IV-1-(2)①毎日、園庭安全確認表を活用して点検しています。  
 IV-1-(2)②一人ひとりの状況や状態を把握し、畳を敷いた一角を設けるなどをし、生活場面や年齢に合った配慮をしています。  
 IV-1-(3)①園児同士のトラブルに対しては、園児が納得して仲直りが出来るように努めています。  
 IV-1-(3)②排泄や衣類の着脱など一人ひとりに合わせた援助をし、食後に自然と昼寝の準備に取り掛かっている様子をうかがえました。  
 IV-1-(3)③子どもたちの発達に合わせた玩具や遊具などが確認できました。  
 IV-1-(3)④地域の方や園庭開放の利用者と夕涼み会をしたり、芋掘りや焼き芋パーティを体験しています。  
 IV-1-(3)⑤園児それぞれの表現が拡大するようにリズム・体操教室や英語教室を実施しています。  
 IV-1-(3)⑥異年齢保育を取り入れ、人間関係が育つよう交流しています。  
 IV-1-(3)⑦保育協会が主催する子どもの権利擁護に関する研修を受講し、子どもの人権に配慮するよう努めています。  
 IV-1-(3)⑧園児の遊んでいる様子から役割分業意識を植え付けないような配慮があります。  
 IV-1-(3)⑨SIDSの伝達研修が行われており、その実践を的確に行っています。  
 IV-1-(3)⑩延長保育日誌より、それぞれ異なったプログラムの提供がされています。  
 IV-1-(3)⑪障がい児には担当保育士をつけており、本部より障がい児保育の専門家による巡回指導や相談を受けています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録している	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かしている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

IV-2-(1)①年2回個人面談をし、乳児クラスは連絡帳を用い、園児の様子などの情報交換を行っています。  
 IV-2-(1)②年齢ごと異なった連絡帳になっており、それぞれ様式が定められて、記録にばらつきが生じないよう工夫しています。  
 IV-2-(1)③クラス懇談会で方針や子どもたちの様子を伝えています。運営委員会で保護者同士の交流の場を設ける等、保護者が参加できる行事(日曜日・祝日)を定期的に行い、保護者負担を減らすという考えから保護者会組織はありませんが、職員と保護者の共通理解に努めています。  
 IV-2-(1)④虐待対応マニュアルを整備し、虐待対応に関する研修も行っていきます。  
 IV-2-(1)⑤虐待対応マニュアル内に通告先を明示すると共に、電話番号を記載しています。  
 IV-2-(1)⑥年長児は、授業体験・給食体験をしており、小学校との話し合いの場、保・幼・小連絡会に参加し、連携に努めています。  
 IV-2-(2)①市より一時保育の委託を受けていないため、非該当としています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	B	B

[自由記述欄]

IV-3-(1)①調理衛生マニュアルを作成し、改訂も行われています。  
 IV-3-(1)②食中毒対応マニュアルを作成し、毎年研修を行っています。平成24年度中に実施予定です。  
 IV-3-(1)③本部に安全点検を行う専門家があり、巡回して安全点検をしています。  
 IV-3-(1)④災害時マニュアル・緊急時マニュアルを作成し、適切な訓練を実施しています。  
 IV-3-(1)⑤不審者進入時対応マニュアルを整備しています。また、訓練の実施を日誌により確認できました。しかし、警察等との連携のもとでの研修等は実施していません。